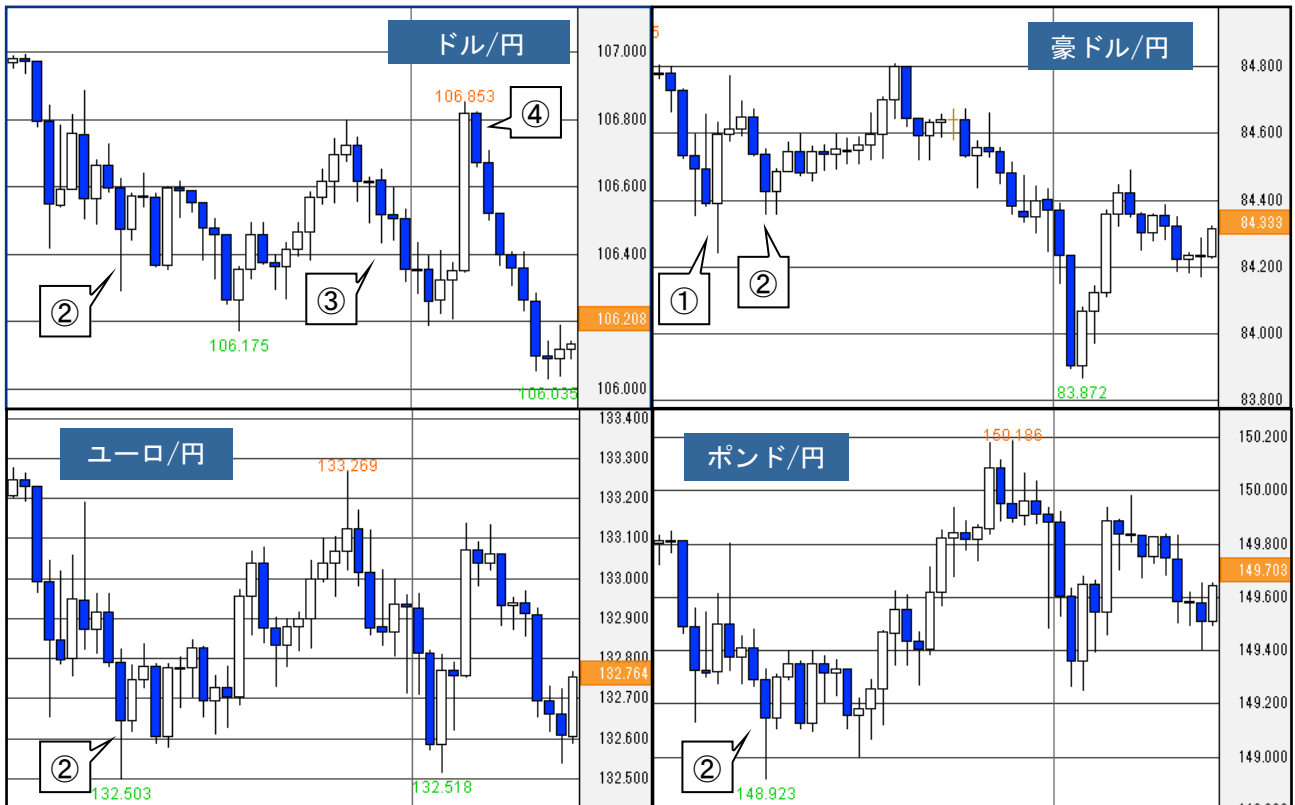


2月16日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

双子の赤字がドルを圧迫との見方

15日(木)の為替相場



期間：15日(木)午前7時10分～16日(金)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪1月就業者数は1.60万人増となり、市場予想(1.50万人増)を僅かに上回った。また失業率は予想通りの5.5%となった。就業者数の内訳でフルタイム労働者が減少していた事や、前月の失業率が0.1ポイント上方改定された事などから、一時豪ドルが弱含んだ。
- ② ドル/円相場が1年3か月ぶりに106円台へ下落している事について、麻生財務相が「日米ともに経済ファンダメンタルズは良好であり、口先を含めて介入が必要なほどの円高でも円安でもない」と発言。これを円高容認と受け止められ一時円買いが強まる場面があった。
- ③ 米1月生産者物価指数は前月比+0.4%となり予想と一致。前年比では+2.7%と予想外に加速した(予想:+2.4%、前月+2.6%)。米2月NY連銀製造業景況指数は13.1と予想(18.0)を下回った一方、米2月フィラデルフィア連銀製造業指数は25.8と予想(21.8)を上回った。また、米新規失業保険申請件数は23.0万件と予想(22.8万件)を僅かに上回った。その後、米1月鉱工業生産は前月比-0.1%と、予想(+0.2%)に反して減少した。この日の米経済指標は好悪マチマチの結果で、為替市場の反応は限られた。
- ④ 日銀正副総裁人事について日本政府は、黒田総裁の再任のほか、副総裁に日銀の両宮理事と早大の若田部教授を充てる案を検討中と報じられた。リフレ派の若田部教授の名前が挙がった事で一時円売りが優勢となったが、ドル売り優位の流れの中でドル/円は伸び悩んだ。その後は一転して下げ足を速め、クローズ間際には106.035円まで下値を切り下げて2016年11月以来の安値を付けた。

15日(木)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21464.98 △310.81	5908.990 △67.754	休場	7234.81 △20.84	12346.17 △7.01
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25200.37 △306.88	0.0670% △0.0020	2.921% △0.070	1.646% △0.006	0.764% △0.006
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.1844% △0.0208	2.9095% △0.0073	61.34 △0.74	1355.30 ▼2.70	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
	106.70	
	106.65	
	106.60	
	106.55	
	106.50	
	106.45	
	106.40	
	106.35	
	106.30	
	106.25	
	106.20	
	106.15	
	106.10	
	106.05	
	106.00	
	105.95	
	105.90	
	105.85	
	105.80	
	105.75	
	105.70	

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	105.600-107.100	131.900-133.500	83.800-85.000	148.800-150.400

【ドル/円】

昨日のドル/円は106.00円台まで続落して1年3カ月ぶりの安値を更新。米長期金利上昇(米債安)・ドル安の流れが続く中、米国の「双子の赤字」を市場が意識し始めたとの見方も出てきた。大型減税や政府支出の増加で米財政は悪化。減税効果による内需拡大で米貿易赤字も膨らむ。財政赤字と経常赤字の拡大によりドルは下落圧力に晒されるとの見方だ。そうした見方の正当性はともかく、足元のドル安トレンドに理由付けができて始めた点は重く見る必要がある。

本日のドル/円は、週末を控えてポジション調整的に買い戻しが入ってもおかしくないが、106円台には特段のチャートポイントもなくサポート力は強くない。ひとたびドル安圧力がかければ105円台に突入する可能性が高そうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
2/16(金)	17:20		(ユーロ圏) クーレECB理事、講演	—	—
	18:30		(英) 1月小売売上高(自動車燃料含む:前月比)	-1.5%	+0.5%
	22:30	○	(米) 1月住宅着工件数	119.2万件	123.4万件
	22:30		(米) 1月建設許可件数	130.0万件	130.0万件
	22:30		(米) 1月輸入物価指数(前月比)	+0.1%	+0.6%
	24:00	○	(米) 2月ミシガン大消費者信頼感指数・速報	95.7	95.4

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総研研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com